

第40回全国高等学校総合文化祭
放送部門参加要項

1 目的

- (1) 全国の高校生が、作品の制作や発表を通して全国の仲間と交流を深める。
- (2) 作品や原稿の作成を通して、自らの郷土を新たな視点でもう一度見つめ直す。
- (3) 美しい日本語を、アナウンス・朗読・ナレーションで表現することにより、言葉による表現のすばらしさを再認識する。

2 日時

平成28年8月2日(火) 9:00~18:30 (予定)

平成28年8月3日(水) 9:00~18:00 (予定)

3 会場

会場名	広島国際会議場
所在地	〒730-0811 広島市中区中島町1番5号
連絡先	TEL 082-242-7777 FAX 082-242-8010
HP アドレス	http://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/

4 参加資格

全国高等学校総合文化祭開催基準規程第10条に基づき、参加資格を有する者とします。

5 参加校推薦書

各都道府県の高等学校(芸術)文化連盟の指示に従ってください。

6 参加負担金

アナウンス・朗読部門は発表生徒1人につき1,000円、AP・VM部門は1作品につき1,000円とします。なお、納入方法等については、平成28年3月に公表する「参加要領」等でお知らせします。

7 著作権等について

- (1) 著作権に関する権利者の許諾が必要な場合は、出演団体で所定の手続きを行ってください。
- (2) 発表等にかかる著作権は全国高等学校文化連盟に帰属するものとします。
- (3) 参加者等の肖像を、記録集の作成、DVDディスク又はBlu-rayディスク等の映像記録媒体の作成、ホームページ等の掲載等に活用することがありますので、あらかじめご了承ください。

8 部門、発表者、出品数及び出品基準

部門	出品基準	発表者 出品数
アナウンス部門	(1) 「継承」をテーマとする郷土（所属する学校のある都道府県内）の話題を高校生に伝える内容の原稿を作成し、発表してください。 (2) 発表時間は、学校名・氏名を含めて1分30秒以内とします。 (3) デジタル静止画像を併用することができます。 (4) デジタル静止画像の投影は、台本に従って開催県が担当しますが、希望により発表校で行うこともできます。 (5) BGMは使用できません。	各部門 3名
朗読部門	(1) 郷土（所属する学校のある都道府県内）にゆかりのある作家の作品、又は郷土を舞台とした作品の中から原文のままを一部選んで原稿とし、発表してください。 (2) 発表時間は、学校名・氏名・作者名及び作品名を含めて2分以内とします。 (3) 効果音やBGMを併用することができます。 (4) 音声の再生と音量調節は、台本に従って開催県が担当しますが、希望により発表校で行うこともできます。 (5) デジタル静止画像は使用できません。	
オーディオ・ビクター (AP) 部門	(1) 郷土（所属する学校のある都道府県内）の話題を高校生に伝える内容の作品にしてください。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問いません。 (2) ステレオ音声を主とし、デジタル静止画像（25画像以内）を併用する作品とします。 (3) 発表時間は5分以内とします。 (4) デジタル静止画像の投影は、発表校で行ってください。	1作品
ビデオメッセージ (VM) 部門	(1) 郷土（所属する学校のある都道府県内）の話題を高校生に伝える内容の作品にしてください。 (2) 自校オリジナルのビデオ作品とします。 (3) 発表時間は5分以内とします。 (4) 作品の再生は、開催県が行います。	2作品

※ 発表者・出品数は、開催県については、それぞれの部門について2倍まで可とします。

9 規格

部門	出品基準
アナウンス部門	(1) デジタル静止画像は、JPEG形式で5画像以内とし、パソコンからビデオプロジェクター1台で投影するものとします。 (2) 静止画像のサイズは、XGA(1024×768ピクセル)としてください。 (3) デジタル静止画像のデータは、CD-Rにより提出してください。
朗読部門	(1) 効果音やBGMは、1作品分を再生順に録音してください。 (2) 録音したデータは、CD-R(音楽CD形式)により提出してください。
オーディオビジュアル(AV)部門	(1) CD-Rによるステレオ音声とJPEG形式のデジタル静止画像(25画像以内、総容量100MB以内)を併用する作品とします。 (2) 音声は、CD-R(音楽CD形式)に1作品分を1トラックに録音してください。 (3) デジタル静止画像は、JPEG形式で25画像以内としてください。なお、パソコンからビデオプロジェクター1台を使用して投影するものとします。 (4) 静止画像のサイズは、WXGA(1366×768ピクセル)又はXGA(1024×768ピクセル)としてください。 (5) 音声データ及びデジタル静止画像のデータは、それぞれ別のCD-Rで提出してください。
ビデオメッセージ(VM)部門	(1) 作品は、DVD-R(DVD-Video形式、NTSC、アスペクト比4:3又は16:9)に録画して提出してください。なお、BD-R(片面一層のみ記録、最大記録容量25GB)による提出も可とします。双方とも、市販の家庭用DVDプレーヤー又はBDプレーヤーで再生できることを確認してください。 ※ 2008年3月までのパナソニックブルーレイレコーダーで録画するときは、再生互換性に十分留意してください。 (2) 作品本編の前後に10秒間の静止画によるテストパターン(形式は自由)を録画してください。

10 留意事項

各部門とも、提出作品は他のコンクール等に参加していない作品とします。

11 発表順

- (1) 滋賀大会の理事会において抽選を行い、開催県以外の都道府県46+開催県2の合計48エントリーを、部門ごとに6エントリーずつ8つのグループに分けます。
- (2) グループ分けにおいて、運営上必要がある場合にグループの変更を開催県が依頼することがあります。
- (3) 各グループ内の発表順は、抽選結果に基づき各県に割り当てますので、部門別参加申し込みの際に各都道府県放送専門部事務局で入力してください。

12 審査講評及び表彰

- (1) 審査及び講評は、開催県で委嘱した審査員により行います。

- (2) 各グループ(AP 部門は2グループごと)内の部門ごとの順位をポイント化し、最も高い合計点の発表・作品に優秀賞を授与します。また、部門の基準に照らして、表彰に値すると認められた発表・作品に特別賞を授与します。
- (3) (2)のポイントを全部門で合計し、合計点が1位の都道府県に対して文部科学大臣賞を、2位の都道府県に対して文化庁長官賞を授与します。
- (4) 講評会及び表彰式は、閉会式に先立って行います。

13 リハーサル及び生徒交流会

行事名	日時	場所	内容
リハーサル	平成 28 年 8 月 1 日(月) 12:30～(予定)	広島国際会議場	オーディオ・ビジュアル(AP)部門のみ、希望校について実施します。
生徒交流会	平成 28 年 8 月 3 日(水) 時間未定		未定

14 関係会議

次のとおり放送専門部関係会議を行います。

名称	日程	時間(予定)	場所
6 県会議	平成 28 年 8 月 1 日(月)	13:00 ～ 14:00	広島国際会議場
常任理事会		14:00 ～ 15:30	
理事会		15:30 ～ 17:00	

15 作品及び番組進行表の提出

都道府県単位で一括して送付してください。

16 その他

詳細については、平成 28 年 3 月に公表予定の「参加要領」等でお知らせします。

17 問い合わせ先

内容	部門大会	実行委員会事務局
所在地	〒731-5157 広島市佐伯区観音台三丁目 15-1	〒730-8514 広島市中区基町 9-42
名称	広島県立五日市高等学校内 放送部会代表委員 にみや つぐまろ 荷宮 嗣麿	広島県教育委員会事務局教育部 高校教育指導課 全国高等学校総合文化祭推進担当内 第 40 回全国高等学校総合文化祭 広島県実行委員会事務局
連絡先	TEL 082-923-4181 FAX 082-922-9681 E-mail housou@hiroshima-c.ed.jp	TEL 082-513-5270 FAX 082-222-1468 E-mail 2016Hiroshimasoubun@pref.hiroshima.jp
その他	大会公式ホームページ http://www.hiroshima-soubun.jp/ 大会に関する情報を掲載しますので、定期的に確認いただきますようお願いいたします。	